

「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」で19の最優秀ファンド賞を受賞

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野暁）は、「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」で合計19の賞を受賞しました。

投資信託部門では、「D I A M新興市場日本株ファンド」が昨年に引き続き、評価期間10年のカテゴリで受賞するなど11本の賞を受賞しました。確定拠出年金部門においても、再び評価期間10年のカテゴリで受賞した『D I A Mバランス・ファンド<D C年金> 3成長型』を含む8本の賞を受賞しており、両部門あわせて合計19本の最優秀ファンド賞受賞となりました。なお、「D I A M新興市場日本株ファンド」については8年連続9回目の受賞となります。

投資信託部門

評価期間 (年)	ファンド名	リッパー分類
3	M H A M U Sインカムオープン毎月決算コース（為替ヘッジなし）	債券型 米ドル
3	企業価値成長小型株ファンド	株式型 日本 中小型株
3	世界コアインフラ株式ファンド	株式型 テーマ株 インフラストラクチャー
3	アジア3資産ファンド 分配コース	ミックスアセット 日本円 バランス型
5	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年1回決算型）	債券型 エマージング グローバル LC
5	高金利通貨ファンド	債券型 グローバル 短期債
5	M H A M U SインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）	債券型 米ドル
5	D I A Mジャナス米国中小型株式ファンド	株式型 米国 中小型株
10	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	債券型 エマージング グローバル LC
10	みずほU SハイイールドオープンBコース（為替ヘッジなし）	債券型 米ドル ハイイールド
10	D I A M新興市場日本株ファンド	株式型 日本 中小型株

確定拠出年金部門

評価期間 (年)	ファンド名	リッパー分類
3	M H A M日本成長株ファンド<D C年金>	株式型 日本
3	D I A M ワールドR E I Tアクティブファンド<D C年金>	株式型 業種別 不動産業 グローバル
3	投資のソムリエ<D C年金>	ミックスアセット 日本円 フレキシブル型
5	M H A M日本成長株ファンド<D C年金>	株式型 日本
5	D I A M ワールドR E I Tアクティブファンド<D C年金>	株式型 業種別 不動産業 グローバル
5	投資のソムリエ<D C年金>	ミックスアセット 日本円 フレキシブル型
10	M H A M日本成長株ファンド<D C年金>	株式型 日本
10	D I A Mバランス・ファンド<D C年金> 3成長型	ミックスアセット 日本円 バランス型

アセットマネジメントOneでは、本受賞を励みに、投資家の資産形成に資する商品・サービスの提供と運用成績の向上に引き続き努めてまいります。

以上

※当該評価は、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



REFINITIV LIPPER FUND AWARDS

2020 WINNER
JAPAN

免責事項 | Disclaimer

「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リップパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperalpha.refinitiv.com/lipper/をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。」

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードについて

世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating（リップパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、lipperalpha.refinitiv.com/lipper/をご覧ください。

選考は、2019年末時点で、日本国内で販売登録されているファンドのうち、36カ月以上の運用実績があるファンド並びに2020年4月1日以降に償還を迎えるファンドが評価対象です。

【投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項】

【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について [ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完

全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点（2020年3月18日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約53兆円と国内有数の規模を誇ります。統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。HP：
<http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2019年9月末時点。

商号等／アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会